

2025 年 7 月 18 日

鹿児島大学病院で
非機能性下垂体腺腫/非機能性下垂体神経内分泌腫瘍の治療を
受けた患者さんへ
(生命科学・医学系研究に関する情報)

当院では、以下の生命科学・医学系研究を実施しております。生命科学・医学系研究とは、従来の臨床研究、疫学研究、ヒトゲノム・遺伝子解析研究を含み、人を対象として国民の健康の保持増進、患者さんの傷病からの回復、生活の質の向上に資する知識を得る等を目的とする研究のことです。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

非機能性下垂体腺腫/非機能性下垂体神経内分泌腫瘍における手術前後の下
垂体機能に関する研究

【研究の目的】

非機能性下垂体腺腫/非機能性下垂体神経内分泌腫瘍(PitNET)の患者様は下垂体機能障害を合併することが多いことが知られています。しかしながら、一部の患者様では手術により下垂体機能が回復することがあることが分かっていました。この研究では手術前後の下垂体機能を評価することで、どのくらいの頻度で下垂体機能が回復するのか、回復に関わる因子は何なのかを解明することを目的としています。

また、最新の世界保健機関(WHO)の組織分類で下垂体腺腫が下垂体神経内

分泌腫瘍（PitNET）に名称が変更されました。加えて、転写因子（遺伝子の発現を制御するタンパク質）を基本とした組織診断が確立されました。この研究では、腫瘍の病理組織像や転写因子を含めた免疫組織化学が下垂体機能にどのような影響を与えるかについても検討します。

【研究の方法】

患者様の症状や症候、手術前後の下垂体機能、腫瘍の病理組織像、転写因子を含めた免疫組織化学、術前後の血液検査や画像検査の所見などとの関連を調べます。

【研究期間】

研究実施許可日 ～ 2026 年 3 月 31 日

【対象となる患者さん】

2007 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までに、鹿児島大学病院脳神経外科で非機能性下垂体腺腫と診断され、手術を受けた患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

患者様の年齢・性別・症状・症候、手術前後の下垂体機能・血液検査・画像検査の所見などを診療録から抽出いたします。

手術加療の際に摘出した腫瘍の一部を保管させて頂いている試料がある場合、改めてその病理組織像の確認や免疫組織化学による再検査を行い、検討します。

【研究組織】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

鹿児島大学病院 脳神経外科

講師 藤尾信吾

【試料・情報の管理責任者】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科長 田川 義晃

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や生年月日など、患者さんを直接特定できる個人情報を特定の個人を識別することができないように加工します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科学分野の研究費（使途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番 1 号

鹿児島大学病院 脳・神経センター 脳神経外科

講師 藤尾信吾

電話 099-275-5375 FAX 099-265-4041